

動物共生住宅とは

●飼い主にとっての快適・便利さを考える。

〈例〉玄関脇に小型犬のリードがつけられるような台を作り、人がスムーズに動けるような工夫をする。

家中にしつけする空間をつくる。

●動物の安全と健康を考える。

〈例〉熱中症対策として、屋上緑化を用いて直下の部屋の室温を下げる工夫をする、冷房に頼らない自然換気できる「風の道」を作る。

●ペットと共に思い出の写真を家の中で撮るような場所を作る。



ヒューマンアニマルボンド=人と動物の結びつき

動物が人にもたらす効果としては、触った時の安堵感や育てることでの責任感などがあり、心の和み・脳の活性化のメリットが発生します。

しつけとマナー

飼い主は動物が苦手な人がいることも考えて、行動する事が大切です。

外出時のマナーは

●犬の散歩時のリード（鎖）は命綱だと思うこと。

●犬を先に歩かさない。

●道端でのおしっこはさせないようにし、家で出来る様にしつける。



ズーノーシス=人と動物に共通の感染症

動物から人にうつる感染症があります。その知識を持ち、関わることがあります。先日も国内で狂犬病の方が亡くなられました。その狂犬病について挙げてみます。

潜伏期が1～3ヶ月間(まれに1年以上)

潜伏期に治療すれば殆ど治るが、発症すれば致死率100%

注意点

●海外では狂犬病はポピュラーな病気です。むやみに動物に触らないようにする。

(噛まれた場合はすぐに病院へ)

●飼い主は予防接種をする。（義務付け有）

動物法令学動物の愛護及び管理に関する法律（動愛法）

人のためにあるものであり、それが守られることによって動物の愛護と管理が実現される。ポイントは、命あるものという概念の導入。

動愛法以外にも、狂犬病予防法や身体障害者補助犬法などがあります。

11月4・8・23日の3日間、中央工学校大阪（豊中市）で動物共生・環境コーディネーター講習会が開催されました。最初の2日間で動物のことを知り、3日目でその知識を建築にどのように活かすかという内容で講義を受けました。

リフォーム費用の助成制度のご紹介

介護保険による住宅改修の助成

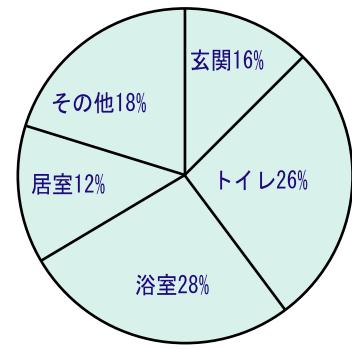
§ これらの工事に助成金がでます（要介護の認定が必要）
最高20万円まで（但し、一割自己負担）



手摺の取付け	段差の解消・滑り防止・移動の円滑	引戸等への扉取替え	洋便器への取替え
玄関・廊下では			
・段差の解消　・車椅子が通れる幅を確保する　・滑りにくい床材に替える ・スロープを取付ける　・手摺を取り付ける　・踏み台を設ける			
トイレでは			
・段差の解消　・手摺を取り付ける　・ドアを引き戸にする　・和式トイレを洋式トイレに替える			
居室(寝室)では			
・手摺を取り付ける　・ドアを引き戸に替える　・畳を滑りにくい床に替える			
浴室では			
・手摺、滑り止めを付ける　・出入口の段差の解消　・床上げをする　・ドアを折戸にする			

各市町村での住宅改造の助成

§ 各自治体において支給額が異なりますが、上記介護保険の助成金に加えて、
住宅改造の助成金がでます。
吹田市においての限度額は50万円（但し所得により自己負担があります。）
これらを活用すればより良いリフォームが可能になります。



住宅改造の実施箇所
(大阪府住宅改造助成利用調査より)

地震災害に備えて、耐震診断や耐震補強の助成

§ 耐震診断の助成金は、1戸建て及び長屋住宅で2万5千円。
耐震診断により耐震性が不足していると診断された建物は、
耐震改修工事を行い耐震性の向上を図ることをおすすめします。
大阪市では耐震補強工事にも工事費の15%、60万円限度で助成金がでます。



その他各種融資制度

§ 住宅金融公庫や高齢者住宅などで、高齢者向け返済特例制度
「バリアフリーリフォーム融資」があり、500万円を限度に、
土地や建物を担保に、毎月のご返済は利息のみという制度も
あります。

最新金利情報（住宅金融公庫 平成19年1月20日現在）

§ リフォーム（住宅部分床面積 175m²以下）
耐震改修工事 3.37%
上記以内 3.57%、3.82%
§ 住まい広がり特別融資（本人居住型、親族移住型）
基準融資 3.82%

ご相談・お問合せは、各市町村窓口や住宅金融公庫です。
お気軽にケイハンサービスまでお問合せ下さい。

文責 西 健二